

研修No. 2 2

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 2 月 22 日
研究・研修課題名	医療安全に関する講習会・セミナーの受講
研究・研修組織名(所属)	医療安全に関する講習会・セミナーの受講
研究・研修責任者名(所属)	田島義証 (MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	川畑ひとみ (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果 (なし)
該当者名(所属)	明穂一広, 川畑ひとみ, 梅田宏幸, 長谷川竜馬, 崎山貴也, 郷原茜, 岡田直之, 古谷昭人, 石飛翔吾, 原有彩, 山本優葉, 本多弘明, 小坂亮太, 島根輝弥, 山田祥平, 小笠原樹, 山根柁太郎
学会名(会期・場所)、認定名等	医療機器管理安全管理研修会 Eラーニング
演題名・認証交付元等	なし
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 () <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

MEセンターでは、5000台近い医療機器を扱っており、医療機器管理システムを用いて保守管理している。今後も医療機器台数は増加する事が予測され、システム更新も控えております。医療技術の高度化が進み、機器管理、情報管理を含めた医療安全に関する技術と法規知識が求められるため、研修会を受講し、MEセンターとして、組織的管理を学び、院内全体の医療機器安全運用に寄与するためe-ラーニングを受講する

② 方法

日本臨床工学技士会主催の医療機器安全に関する講習会・セミナーを受講する。
血液浄化領域、救急集中領域、手術内視鏡領域、心カテ治療領域、高気圧酸素治療、医療ガス・電波の安全管理について学ぶ。

③ 成果

16名が受講を修了した。(1名は体調不良で未受講)

血液浄化領域：血液浄化療法の現状、保守管理、教育研修、感染予防、水質管理、医薬品についての管理を学んだ。

救急集中領域：重症疾患患者の集中管理、侵襲的治療や検査が行われており、医療機器の感染防止対策が重要。IABP, ECMO, の定期的機能点検、故障を想定したバックアップ体制の整備、添付文書記載に従った消毒が必要。人工呼吸器は使用する装置の機能を理解し、正しく操作する。他の装置同様、保守点検、パーツ毎の清掃、消毒滅菌を取り扱い説明書に合わせて対応する。持続的血液浄化装置については、長時間ベッドサイドでしようするため、湿性生体物質による暴露の可能性が高い。感染経路とならないよう清掃消毒が必要。除細動器の保守管理は、使用後の点検が重要である。AEDは設置管理者、点検担当者を決めて適切な管理が行われる体制が望ましい。手動式肺人工蘇生器は単回か、

(様式1)

リユースかを理解する。リユースの場合は元の状態に組み立てを正しく行わなければ死亡事故をまねく。その他、機器の保守管理ととも教育研修の重要性、感染性廃棄物の処理について学んだ。

心カテ治療領域：放射線を用いた間欠的検査であり、技士にとっても放射線被ばく、針刺し事故、感染事故、医療機器の不具合などの危険が伴う。適切な知識に基づいて履行しなくてはならないが、それでも避けられないヒューマンエラーに対してリスクマネジメント体制を整備することは義務である。医療機器管理については医療機器プログラムについても規制対象であり、トラブル時に復旧させる手段の検討、復旧できない時の対応を明確にしておくことの重要性を学んだ。カテ室に関する安全対策については各施設でまちまちでインシデントも多いため、予期しないトラブルも想定しながら当院独自の管理について検討していかねばならない。

高気圧酸素治療領域：日本高気圧環境潜水医学会の「安全基準」、日本臨床高気圧酸素潜水医学会の「高気圧酸素治療のガイドライン」を熟読するべき。我が国では27年間で爆発事故による死者9名という事例があり、驚くべきことに、全ての原因がカイトを持ち込んだことによるものだった。患者・家族においても所持品の確認は重要である。

医療ガス・電波利用：技士は他職種と協働で対応していくため、行政や関係団体から周知されている医療安全情報について理解するとともに、解決の方法についてのスキルを蓄積することが必要。